

# 西東京市適応指導教室の 進路指導について

学校に登校しない、できない中学生のための進路のお話  
令和5年8月3日(木)

## 西東京市適応指導教室（スキップ教室）

- ・ 様々な理由から学校に登校していない市内在住の小・中学校の児童・生徒に対し、社会的な自立に向けた支援を行う場所
- ・ 「スキップ保谷教室」  
「スキップ田無教室」の2教室

# スキップ教室の活動方針

- ・教室に通い、生活のリズムをつくる。
- ・指導員との関わりを通して悩みの解消や生活意欲の向上を図る。
- ・個々の能力・興味・関心等に応じた無理のない教科指導を進め、学習のつまずきの解消を図る。
- ・グループ活動やスポーツ、パソコン、ゲーム等を通して他者との交流を深め、自立心、協調性をはぐくむ。

進路についての取り組み

## 基本として

- ・ 中学3年生の進路選択は生徒、保護者が決め、在籍校の先生方、スキップ指導員が助言指導をしながら一緒に考えていく機会
- ・ 進路＝自分の進むべき路  
高校受験だけではなく、社会的自立を目指すこと

## 保護者の方へ

- ・ 悩み、焦り、葛藤
- ・ 本人の現状を理解し、保護者が寄り添うことの大切さ

## 一学期の取り組み

4月

自分自身の将来について考える授業時間を設ける。

5月

個別面談

6月

進路保護者会

夏休み

卒業生の話を聞く会

※生徒の状況に合わせ、秋頃を開催する場合があります。

## 二学期の取り組み

9月

受験について概要説明

10月

個に応じた進路学習

11月

進路保護者会

※希望に応じて、生徒への作文指導、面接指導

12月

個別面談、保護者面談  
志願申告書の取り組み



## 三学期の取り組み

1月

志願申告書の完成  
作文・面接指導、学力補充

2月

入試に向けての心構えについて

3月

新しいスタートに向けての準備  
自ら選んだ進路についての理解を深める。

## スキップ教室の「進路指導」について

- 「進路」とは「自分の進むべき路」
- 週に1時間「進路指導」の時間を設けている。

# 授業で行っていること

- 1 自己理解
- 2 社会と自分
- 3 中学卒業後の進路選択

# 1 自己理解

自己理解を深める。

## 2 社会と自分

視野を広げる。

### 3 中学校卒業後の進路選択

中学校やスキップ教室を卒業した後の自分の居場所、やることについて考える。

# 卒業後

スキップ教室の卒業生のその後

## 最後に

- 進路とは「自分がすすんで行く路」
- 路を見失ったように感じることもある。
- 自らがすすみたいと望んでいる限り、路は開けている。